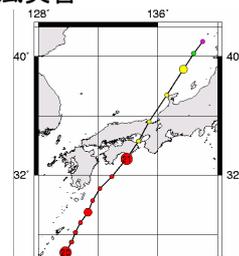


2004年台風6号(DIANMU)による 近江八幡市の風災害

京都大学防災研究所 河井宏允
日本建築総合試験所 西村宏明
東京工芸大学 工学部 田村幸雄
松井正宏
曹 曙陽

2004年台風6号(DIANMU)による 近江八幡市の風災害

- 2004年6月21日頃台風が接近、通過
- 彦根気象台 同日13時頃
 - 最大風速 16 m/s
 - 最大瞬間風速 32 m/s
- 新幹線の架線に屋根葺材が飛来する被害が発生した。



- 青：熱帯低気圧(クラス2)
- 緑：台風(クラス3)
- 黄：台風(クラス4)
- 赤：強い台風+非常に強い台風+猛烈な台風(クラス5)
- 紫(マゼンタ)：温帯低気圧(クラス6)

<http://agora.ex.nii.ac.jp/digital-typhoon/>

被害発生地点と気象台位置



彦根地方気象台

● 気象台 ● 被害発生地点

被害の状況



最大風速の風向

屋根葺材の取り合い部分



その他の被害(1) 小学校



渡り廊下の窓破損(風上面のみ)



屋上避雷針の破損

その他の被害(2)



資材置き場の(軽量)壁材の
飛来による、在来線へ衝突



デパート連絡通路(歩道橋)屋根の飛散

被害の特徴

- 新幹線に飛来した屋根は、従来の屋根に断熱材を施したものを覆う形で設置されたが、従来屋根との接合が不十分であったと考えられる。
- 資材置き場の比較的軽量で、受風面積の大きなものが飛散し、2次的被害を生じた。